



らぶく La・Book

7月号

No.121

☆☆☆ 市民ワークショップ ☆☆☆ 「本大好き」読み聞かせと子育て

講義をヒントに「ワークショップ」
読み聞かせを一緒に楽しみませんか！
子育て中の皆さん 是非ご参加を！ 託児もありますよ

日時：令和4年7月20日（水） 10:00～11:30

（1）講義 “子ども・ことば・絵本” 約30分

講師：中川 基さん（たつのご書店主宰）

（2）ワークショップ 約50分

コーディネーター：中川 基さん

○場所 穂高交流学習センター 多目的交流ホール

○定員 15人（先着順）

○対象者 子育て中の保護者・一般の方

○申込方法 各図書館の窓口又はお電話

安曇野市図書館8月のイベント予定

☆おはなし会☆

開催館	おはなし会名	開催日	開催時間	定員
中央図書館	おはなしのとびら	3日・10日・17日・24日・31日（各水曜日）	10時30分から （乳幼児以上対象）	先着7組
中央図書館	おはなしとしゃかん	20日（土）	10時30分から （乳幼児以上対象）	先着7組
豊科図書館	ちいさいたんぼ	19日（金）	11時から （乳幼児以上対象）	先着7組
豊科図書館	おはなしたんぼ	19日（金）	16時30分から （幼児以上対象）	先着7組
三郷図書館	おはなし会	23日（火）	11時から （乳幼児以上対象）	先着10組
堀金図書館	おはなしのへや	16日（火）	10時30分から （乳幼児以上対象）	先着7組
堀金図書館	おりがみのへや	24日（水）	16時30分から （幼児以上対象）	先着7組
明科図書館	子どもと大人のおはなし会	27日（土）	11時から （乳幼児以上対象）	先着5組

◆講座など◆

開催館	講座名	内容	開催日時	場所	申込等
中央図書館	本編作り講座（全2回）	①安曇野産木材を使って作る一冊本制作り！ ②自作本編を使ってオリジナル展示コーナーをつくろう！	8月4日（木） 午後2時から午後4時 8月5日（金） 午後2時から午後4時	穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール	・対象：小学生以上親子全2回の講座に参加できる方 ・費用：1,000円（材料費） ・定員：6組（要申込） ・講師：星山木工倶楽部のみなさん
中央図書館	映画上映会 「ドキュメンタリー映画 いのちありて」 約65分	図書館所蔵DVDを大画面で上映する毎月開催の上映会。	8月19日（金） 開演午後6時 開演午後6時30分	穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール	・対象：一般 ・費用：無料 ・定員：50人（当日先着順）
豊科図書館	チャレンジ講座 高山植物のものがたり	複雑な山岳地形の横断の著しい違いの不均一性が高山植物群生の多様性に関係している、日本固有の高山植物についてスライドや資料で学びます。	8月6日（土） 午前10時から11時30分	豊科交流学習センター「きぼう」2階多目的ホール	・対象：中学生以上 ・費用：無料 ・定員：50人（要申込） ・講師：千葉悟志さん（市立大町山岳博物館学芸員）
堀金図書館	夏の映画上映会	『恐竜王の宇宙大冒険 with コズミックフロント★NEXT 土星の段/宇宙の果ての段』50分	8月11日（木） 午後1時30分から午後2時30分	堀金公民館講堂	・対象：幼児以上（保護者同伴） ・費用：無料 ・定員：20組（要申込・先着順）
明科図書館	夏の映画上映会	「みつばちマーヤの大冒険」89分	8月2日（火） 午前10時から午前11時30分	明科子どもと大人の交流学習施設 まわりハーモニーホール	・対象：幼児以上（保護者同伴） ・費用：無料 ・定員：30人（要申込・先着順）

7月の第4日曜日は信州山の日、7月15日から8月14日の1ヶ月は信州山の月間とされています。市内図書館で、統一テーマによる信州山の日と題した山岳に関する本の展示コーナーを設けます。登山の準備に本を読んだり、本を読んで登山気分を味わったりと楽しみ方は人それぞれ。山に関する本を読んで夏を楽しみましょう！

一般書

『イントゥ・ザ・プラネット
ありえないほど美しく、とてつもなく
恐ろしい 水中洞窟への旅』

ジル・ハイナース／著 村井理子／訳 新潮社

表紙

私たちの住む地球には、まだまだ未知の世界が潜んでいます。実体験することは難しいですが、本では追体験することができます。今回紹介する本は、まさにそれに打

って付けの本です。ありえないほど美しく、とてつもなく恐ろしい水中洞窟の世界。相反する世界に魅了された著者が描く、“行かずにいられない” そんな世界の旅を著者と共に、ぜひ。

児童書

伝記を読もう『阿波根昌鴻』

堀切リエ／文 あかね書房

表紙

『耳から上に手をあげない』『平和をつくる武器は学習』という言葉を残した阿波根昌鴻。沖縄に軍事基地をつくるために来

た米軍たちに、住んでいた家や畑、家族や仲間をうばわれるなど、たくさんのつらい出来事にも、暴力は用いらず、ひたすら対話でのたたかいをはじめた昌鴻を中心とした沖縄のひとたち。沖縄が日本に復帰した後も、反戦平和のために尽くし、『命こそ宝』と平和をうったえつづけた昌鴻は『沖縄のガンディー』と呼ばれました。

『オオルリシジミの食べるクララってどんな植物?』

2022年3月に、オオルリシジミが安曇野市天然記念物に指定されました。そのオオルリシジミが食す植物が、マメ科の「クララ」です。クララは山野の日当たりのよい場所に生える多年草で、初夏には淡黄色の蝶形花が開きます。

「クララ」は古名の眩草（くららぐさ・くらくさ）が略されたもので、根を口に含むと目が眩むほど苦いことからだそうです。乾燥させた根の生薬名も苦参（くじん）といい、外用薬に使われます。生薬は駆虫剤として用いられ、昭和の初めの頃はトイレのウジ殺しの役割を果たしてきました。その後のインフラ整備で衛生環境が改善したことにより、クララは一転して厄介者とされました。水田の土手や畔、畑の隅に植えられていたクララは刈り取られて数が減ったことにより、オオルリシジミは産卵できる場所を失って激減しました。近年市民による保護活動で食草のクララの植栽範囲は広がりを見せ、オオルリシジミが増えることが期待されています。

<参考資料>

「里山・高山で見た信州の希少種」 南澤正史／しなのき書房

「これぞ安曇野岩原のタカラ」 岩原自然と文化を守り育てる会

「日本の野草」 山と溪谷社 「三郷村誌Ⅰ」 三郷村誌編集会

「三郷文化 第31号」 三郷村教育委員会

「薬になる植物図鑑」 増田和夫／柏書房

「原色牧野植物大図鑑」 北隆館

「朝日百科植物の世界5」 朝日新聞社



6月の貸出ランキング

一般書

- 1 流浪の月 The Wandering Moon / 風良ゆう
- 2 透明な螺旋 / 東野圭吾
- 3 豊科の宝 / 安曇野市の歴史文化遺産再発見事業実行委員会
- 4 穂高の宝 / 安曇野市の歴史文化遺産再発見事業実行委員会
- 5 母性 / 湊かなえ

AV資料

- 1 借りぐらしのアリエッティ / 米林宏昌
- 2 ハリー・ポッターと賢者の石 / クリス・コロンバス
- 3 武士の一分 (いちぶん) / 山田洋次

児童書

- 1 それしかないわけないでしょう / ヨシタケシンスケ
- 2 ころべばいいのに ころべばいいのに / ヨシタケシンスケ
- 3 100かいだてのいえ / いわいとしお
- 4 がっこうのおばけずかん どうわが いっぱい 97 / 斉藤洋
- 5 がたんごとんがたんごとん / 安西水丸

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
豊科図書館 ☎71-4022
三郷図書館 ☎76-3078
堀金図書館 ☎72-3601
明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます))

<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※

梅雨入り宣言の目的の一つに、長雨による災害などへの注意喚起があるようです。今年も昨年より19日も早く梅雨明けしました。梅雨が明ければよい子どもたちにとっては楽しい夏休みのスタートです。暑い日差しを避け、ゆったりとした時間を満喫しに、ぜひ図書館へ遊びに来てください。